

「川島記念賞」

「愛と親切に徹して」

元総長の遺訓「川島記念賞」に生きる

「泥にまみれた著名人になるよりも、善良で愛と親切に徹した社会人として立派な社会づくりに参加してほしい」。1970年3月、学窓を巣立つ卒業生に、川島正次郎総長が贈ったことばは、今なお語り継がれている。



▲川島記念賞メダル

同氏は1914年専修大学を卒業。東京日日新聞(現毎日新聞)記者などを経て政界に転身。国務大臣や自民党幹事長、副総裁を歴任、総裁(首相)選出などで党内の調整役としての手腕が政界で評価された。

本学では、53年から70年まで80歳で死去するまでの間、理事長、総長などを務め、大学の発展に大きな足跡を残した。

最後の出席となった卒業式で、冒頭の総長祝辞は感動的だった。「私は今年すでに80歳、おそらくふたたび会う機会はないでしょう……さようなら、さようなら！」と結ぶと場内から大きな拍手がわき起こり、いつまでも鳴り止まない。式を終えて退席する総長に、卒業生たちが握手を求めるとい前例のないシーンが展開された。

その名は学術、体育の分野で優秀な成績を収めた学生に、卒業にあたって贈られる「川島記念賞」に刻まれた。同氏からの寄贈基金をもって「川島記念学生表彰基金」を置き、専修大学、石巻専修大学、専修大学北海道短期大学の学術奨励と体育振興、各付属高校の生徒の学術奨励を担っている。

受賞者

学術および体育の分野で顕著な成績を収めた学生に対し、卒業にあたって授与される「川島記念賞」の07年度(平19)の受賞者は学術賞23人、体育賞4人、奨励賞4人の計31人。受賞者は次のとおり(学部学科に続いて所属ゼミ等、出身校、進路、勤務先など)。

●学術賞

佐野 準さん

経済学部総代・国際経済学科、室井義雄ゼミ、静岡県清水東高＝清水銀行

岩田 和雄さん

二部経済学部総代・経済学科、東京都新宿高

中澤 歩美さん

法学部総代・法律学科、伊藤武ゼミ、群馬県伊勢崎女子高

吉川 美保さん

二部法学部総代・法律学科、徳島県徳島市立高＝東京簡易裁判所

松場 彩さん

経営学部総代・経営学科、金森剛ゼミ、千葉県佐原高＝千葉銀行

坂上 薫さん

商学部総代・商業学科、黒瀬直宏ゼミ、新潟県五泉高＝専修大学大学院(商学特修コース)

小林 寛人さん

二部商学部総代・商業学科、中村博ゼミ、大学入学資格検定＝金融系SE

浦野 季保さん

卒業生総代・文学部総代・人文学科、柴田弘捷ゼミ、東京都府中高

上保 朝美さん

学術賞総代・ネットワーク情報学部総代・ネットワーク情報学科、上平崇仁卒業制作、東京都専修大学附属高＝オーガス総研

今井 香菜さん

経済学部経済学科、徳田賢二ゼミ、長野県松本第一高＝八十二銀行

長谷川 秀彦さん

経済学部経済学科、茨城県鉾田第一高＝マスプロ電工

金井 友紀さん

二部経済学部経済学科、内山哲朗ゼミ(3年次のみ)、埼玉県浦和商業高

宮島 裕司さん

法学部法律学科、杉本肇美ゼミ

佐藤 綾香さん

法学部法律学科、東京都両国高

伊藤 雄三さん

二部法学部法律学科、長野県松本第一高＝公務員試験準備

王 暎帆さん

経営学部経営学科、山崎秀彦ゼミ、中国吉林省扶松県松江河高級中学＝中国帰国

村田 真梨子さん

商学部商業学科、3年次・奥瀬喜之ゼミ、4年次・生田目崇ゼミ、神奈川県旭高＝リンナイ

安部 幸子さん

商学部会計学科、小島崇弘ゼミ、神奈川県商工高

小山 悟さん

二部商学部商業学科、静岡県下田北高＝コーワリース

久米 夏絵さん

文学部日本語日本文学科、石黒吉次郎ゼミ、長野県長野高＝芝浦メカトロニクス

吉田 恵介さん

文学部英語英米文学科、フリックマン・ジェフリーCゼミ、東京都専修大学附属高＝エフ・シー・エス

小林 晃洋さん

文学部心理学科、大久保街垂ゼミ、東京都海城高

勝倉 一博さん

ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科、上平崇仁卒業制作、神奈川県多摩高＝アープ

●体育賞

川内 将嗣さん

体育賞総代・商学部商業学科、佐賀県龍谷高、ボクシング部＝自衛隊体育学校

岩崎 優さん

経営学部経営学科、神奈川県湘南工科大学附属高、水泳部(競泳)

稲葉 泰弘さん

経営学部経営学科、茨城県霞ヶ浦高、レスリング部＝警視庁

北村 克哉さん

商学部商業学科、東京都日本工業大学付属東京工業高、レスリング部＝FEG

●奨励賞

〈公認会計士試験合格〉

新井 聖一さん

奨励賞総代、商学部会計学科、小島崇弘ゼミ、群馬県高崎商業高＝あずさ監査法人

〈公認会計士試験合格〉

原井 常勝さん

商学部会計学科、東京都東京朝鮮高＝あずさ監査法人

〈公認会計士試験合格〉

古瀬 裕之さん

商学部会計学科、茨城県土浦第三高＝監査法人トーマツ

〈国家公務員試験採用I種試験合格〉

小野 悟さん

経済学部経済学科、望月宏ゼミ、栃木県足利高＝地方公務員



大学院総代

柴田 守さん

博士後期課程修了生総代・法学研究科公法学専攻

〈※論文題目などは後記〉

阿部 亮吾さん

修士課程修了生総代・文学研究科地理学専攻

論文題目「旧河道の乾陸化にともなう立地環境の変化と陸上植生―北海道西別川を例に―」(指導教授・高岡貞夫)



課程博士5人の論文題目

平成19年度課程博士の学位を授与される5人と論文題目は次のとおり(敬称略。カッコ内は専攻・指導教授)。

▽湯 進(経済学専攻・宮寄晃臣)「東アジアにおける二段階キャッチアップ工業化―中国電子産業の発展」

▽柴田 守(公法学専攻・岩井宜子)「少年司法における修復的司法論―導入に向けての政策的検討を中心に―」

▽辛 承姫(日本語日本文学専攻・柘植光彦)「遠藤周作論―母なるイエス」

▽横藤田 稔泰(歴史学専攻・日暮美奈子)「第二共和政期におけるスペイン・ファシズムの思想と運動」

▽上原 聡(商学専攻・黒瀬直宏)「感情を考慮したマーケティングの理論分析と戦略構築に関する考察」

大学院経済学研究科

「平成19年度優秀論文発表会」

大学院経済学研究科修士課程の「平成19年度優秀論文発表会」が3月15日、神田キャンパスで行われ、優秀論文4編が発表された。写真<下>。発表者と論文題目は次のとおり。

▽朝倉健男「ゼロ金利周辺での金融政策の効果に関する理論と実証～非伝統的金融政策と景気回復を巡る一考察～」▽中山嘉「戦後日本における非正規雇用の展開—『多様化』のなかの非正規雇用—」▽川端保治「所得税法における配偶者控除制度の一考察」▽佐藤国夫「法人事業税における外形標準課税—その役割とあり方について—」※敬称略。



▲発表を終えた4人と左端は町田俊彦教授

